

古田中学校職場体験



もちつき

子ども会と町内会が協力して 12 月～1 月に行なっています。今年度は公民館の空調の工事があつた為、残念ながら古江西町は実施を見送りました。他の町内は 1 月にそれぞれ地域の公園や神社境内で行いました。

とんどの行事と合同で大いに賑わった町内。ベテラン男性陣が薪割り、火を起こし、もち米を蒸し、子ども会のお父さんが餅をついた町内。若者が力を發揮しました。子ども達は順番に餅をついたり、小さな手で丸めたりと冬の一日を過ごしました。

もちつきを通じて幅広い年齢層が集まり交流を深める良い機会となりました。

古江新町
古江上
古江東町
田方

きな粉、ぜんざい、豚汁、おいしいね
若者パワー！
おもちって、やわらかいね、あたたかいね
大きな杵でペッタンコおいしくなーれ！

**児童見守り活動の一
人市長表彰**

平成 25 年 2 月 25 日（月）、古江東町の金澤博司さんと古江新町の岡崎哲也さんが、長年の児童見守り活動が認められ市役所本庁の 10 階市長公室において広島市長より交通安全功労市長表彰を受けられました。

岡崎哲也さん
金澤博司さん

通学時の交通事故

「ご存知のように、通学時に児童が交通事故に巻き込まれることが全国各地で起きています。古田学区内も決して安全ではありません。児童の通学時間と一般の方のお勤め時間帯がほぼ同じなため、バイパス方面から降りてくる車やバイクや自転車などのラッシュが発生します。その上山陽線や広電が通勤時間に合わせて列車を増発しています。これらのため踏切周辺は、

お二人とも児童見守りを長年続けてこられ、子ども達とも顔なじみになりました。このようないい子も達と一緒に歩くことがありました。街中であっても挨拶してくれたりするそうでした。このように子ども達や通行人との心の交流が励みとなつて、これまで

続けてこられたようです。お二人以外にも児童見守りと挨拶運動に協力してくれている方々が学区内の至る所にいらっしゃいます。そういう方々の活動を通して未来を担う子どもたちの成長を願う大人の姿を子どもたちに受け止めてもらい、地域一円の人々が支えあってお互いに理解し合えた嬉しいものです。

古江西町 路川貴与和様より
古田学区社会福祉協議会に
ご厚意をいただきました。

古江新町踏切周辺
自転車、バイク、車で混雑します
古江新宮神社付近
雨の日でも見守っています

今年も 1 月 22 日（火）から 24 日（木）の三日間の日程で、一年生の職場体験を実施しました。今年の二年生は 306 名が在籍しており、受け入れをお願いした事業所数は 94 力所になりました。その事業所もこの学区はもとより、西は佐伯区の病院や店舗、東は中心部の公共施設や病院など広範囲にわたりました。一年生の教員は夏休みから各事業所に挨拶に伺い、協力をお願いしてきました。実施をしていただいた事業所の方々には、体験する時期がとても忙しいにもかかわらず、快く引き受けくださいありがとうございました。感謝の意を込めて、この体験を通して学んだこと、働くことへの意義や目的を学びました。

「うわわこわわ」「あつがん」としっかりコミコミをはかること、与えられた仕事をきちんとやさしくするために何を考へどう動くかなび…、生徒自身がしっかりととした目的や目標をもって参加すれば多くのことを学ぶことができるかもしれません。また、自分の限界を発見するのも大切なことです。

一年生の子どもたちは、この職場体験をとても楽しみしていて、少ない取り組み日程でしたが、とても楽しかつて授業に取り組んでいました。しかし、自分の限界を発見するには、まず、健康面に気をつけるようにと注意を促していましたが、インフルエンザの流行期とかなり、参加できないう生徒もいました。参加した生徒からは「仕事の大変さがわかった」「コミニケーションを大切にしなければならない」「挨拶が大切」など、新しく学んだことや今の自分に足りないことなどを発見するきっかけになったようです。

事業所の方からは、「とても明るく積極的に仕事をしてくれました」「最初は緊張していましたが、慣れてくるとよく動くようになりました」と…うれしい感想をたくさんいただきました。しかし、中には挨拶の声

が小さいとか、掃除ができないなどいじ指摘をいたしました。私たち大人が経験できたことがなかなかできない環境にあります。そのために、修学旅行で民泊（農業体験）をしたり、職場で大人の仕事を体験したりと、学校の中では学ぶことができない活動があります。しかし、こうした活動は、いろいろな人の協力と善意で成り立っています。「子どもたちの将来に役立つなり…」と貴重な時間をつかってできる活動です。だからこなす子どもたちには、この体験を単なる「思い出」にするのではなく、事業所の方に感謝し、この経験が自分の成長につながるのかを真剣に考えてもらいたいと思います。

